



平成23年2月14日

千葉物流センタA棟の改築に着手

株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ(代表取締役社長:中川雅行、本社:東京都千代田区、以下NTTロジスコ)は、首都圏エリアの需要増に対応するため、千葉物流センタA棟(千葉県市川市)の改築に着手致しましたのでお知らせします。

＜千葉物流センタA棟改築の概要＞

1. 改築の経緯

千葉物流センタは、京葉道路原木IC(1.5km)、首都高速道路湾岸線千鳥町IC(3.0km)に近接した、都心・東京湾や成田空港へのアクセスに優れた利便性の高い立地です。また、JR東日本京葉線二俣新町から徒歩5分の立地にあり、公共交通機関によるお客様、従業員のアクセスについても絶好の環境です。

当センタは、NTTグループ以外のお客様向けの通販、医療機器、精密機器検査等「高付加価値サービス」を中心に提供しておりますが、恵まれた立地条件と物流センタの管理能力が支持され、受注が好調で、先日お知らせした新D棟についても満床となり、空きが少なくなったため、A棟を新たに改築・増床することとしました。【旧A棟:約4,800m² → 新A棟:約17,000m² 約12,000m²(約3,600坪)増床】

2. 新倉庫の特徴

新A棟は、フロアあたり約4,000m²(約1,200坪)の4層倉庫部分に、事務所を適所に配置した設計として、お客様ニーズに沿った区分割りで提供できる構造となっているとともに、倉庫有効天井高さを6mに設定し、保管ラック配置を考慮したスパン割りにするなど、高効率な荷物保管が可能な構造としました。

空調設備は全フロア導入可能で、外壁に金属サンドイッチパネルを使用して空調効率も高めております。また監視カメラ・入室セキュリティ機器も標準装備しており、24時間警備員配置とともにセキュリティ対策も充実させ、お客様の多様なニーズに対応できるようにしております。

本倉庫棟は環境に配慮した施設造りや運営形態とし、太陽光パネルの設置可能な設計としているとともに、工事中の重機騒音を軽減するためにアクティブ消音装置を採用するなど、周辺住宅環境にも配慮した施設施工計画に取り組みます。

【千葉新A棟の外観図】

3. 施設計画の概要

- ・所在地:千葉県市川市二俣717-88
- ・構造:鉄骨造 地上8階建(倉庫フロア 4階)
- ・延床面積:約17,000m²(約5,000坪)
- ※千葉物流センタ全体では約73,900m²(約27,500坪)
- ・着工予定:平成23年 4月
- ・竣工予定:平成23年12月



注:イラストは完成予想図です。
建物の仕様は変更される可能性があります。